

# 量刑解釈に関する刑事判例への注釈支援ツール

○高丸圭一(宇都宮共和国) 渋木英潔(横浜国立大学) 木村泰知(小樽商科大学)

お問い合わせ → takamaru@kyowa-u.ac.jp

最高裁判所のホームページ等  
判例が自由に閲覧可能

長く複雑で、一般市民が  
読んでも、すぐには理解できない

教えてくれる専門家が  
いつでも近くにいるとは限らない

専門家による注釈がついていると  
分かりやすい(特に、量刑の理由)

情報共有を主目的とした  
XMLタグ付けツールの提案

## 量刑解釈タグ付きの判例の提供

刑事裁判の結果(判決文)を分かりやすく提供することで、市民の裁判への関心が高まる。また、裁判員支援にも効果的であると考えられる。

- ① このようなツールは役に立ちそうでしょうか?
- ② どのようなタグセットがあると良さそうでしょうか?
- ③ 活用方法(応用分野)についてご意見はありますか?

- ・ 専門家による注釈の共有(比較)
- ・ 個人的なメモとして
- ・ 一般市民の関心点をタグ付け  
(例: 新聞記事に引用された記述など)
- ・ 自動挿入タグ\*  
(例: 定型的な表現など)

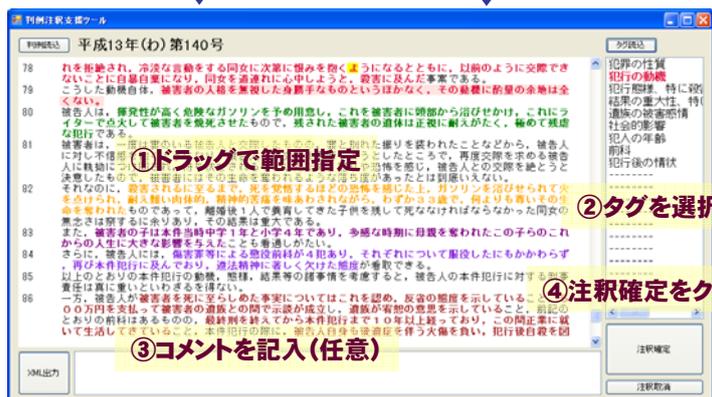
(※未実装)

## XML形式での出力

```
<?xml version="1.0" encoding="shift_jis" ?>
<Data version="1.0">
<Precedent TagStyle="Nagayama.tsf">
<Sentence Id="1">平成13年12月25日宣告</Sentence>
<Sentence Id="2">平成13年(わ)第140号 殺人被告事件</Sentence>
:
<Sentence Id="79">こうした動機自体、<Annotation Type="1:犯行の動機"
Comment=">被害者の人格を無視した身勝手なものというほかなく、その動機に酌量の余地は全くない</Annotation>。</Sentence>
<Sentence Id="80">被告人は、<Annotation Type="2:犯行態様、特に殺害方法の執拗性、残虐性" Comment=">揮発性が高く危険なガソリンを予め用意し、これを被害者に頭部から浴びせかけ、これにライターで点火して被害者を焼死させた</Annotation>もで、<Annotation Type="2:犯行態様、特に殺害方法の執拗性、残虐性" Comment=">残された被害者の遺体は正視に耐えがたく、極めて残虐な犯行</Annotation>である。</Sentence>
<Sentence Id="81">被害者は、一度は妻のいる被告人と交際したものの、妻と別れた振りを装われたことなどから、被告人に対し不信感を抱くようになり、被告人との交際を再考しようとしたところで、再度交際を求める被告人に執拗につけ回され、待ち伏せされるなどしたため、怒りや恐怖を感じ、被告人との交際を絶とうと決意したもので、被害者にはその生命を奪われるような落ち度があったとは到底いえない。</Sentence>
:
</Precedent>
</Data>
```

判決文データ

タグセット



判例DBへの組込

- ・ テキストへの情報付加
- ・ 見やすさの向上
- ・ 検索オプションの多様化

専門家による分析

- ・ 判決文の書き方の研究
- ・ 表現と量刑の統計分析

工学的応用